

(様式第1号)

令和元年 5月26日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 赤塚 幸一郎 様

代表者 伊藤 和子

記録員 熊澤 光 吏

班員 結城 義 巴

〃 遠藤 敬 知

〃 水戸 芳 美



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和元年5月21日(火)午後7時～午後8時40分	
2 会 場	市立天童北部公民館	
3 欠席議員	なし	
4 参加者数	13名(男性13名・女性0名)	
5 報告内容	議会活動状況説明、12月、3月の定例会で議決した内容、賛否が分かれた議案とその理由、市政に関する意見など	
6 意見・要望等	市 民	議 員
	1 行政視察の視察先の選定方法は？	各常任委員会ごとに、各自治体の先進事例を調査し選定している。
	2 議会報告とあるが、今回何を報告されたいのかがわからない。	議会だよりを見た感想や不明な点、要望・意見などを自由に出してもらいたい。
	3 以前は議員の自慢話ばかりで意見交換の時間が少なかったため、何のための議会報告会かがわからなかった。 各地区共通の課題や問題に対して、議会ではこのように取り組んでいるといった提案をしてもらいたい。また、まちづくり懇談会と同じようにして欲しい。議会報告会というネーミン	過去にいただいたご意見やアンケートを基に、多くの方と対話ができる意見交換会をしたいと考えて実施している。また、班編成についても当選回数、会派、地区で選定している。

	<p>グが悪い。</p>	
	<p>4 防災士の資格を取るのに県では市町村担当者の認可が下りれば4万円の助成があるが、本市にはない。災害が多いところでは進んでいるが、本市は遅れている。</p>	<p>昨年、本市では県の助成事業の案内を各自主防災会に配布している。自主防災会で推薦すれば県の助成対象になるもの。</p> <p>(調査結果)</p> <p>5月30日の市自主防災会連絡協議会の総会の席上、今年の実施ととして、受講料61,000円のうち、県の助成40,000円に加え、市の助成10,000円(過去に普通救命士講習を受講された方もしくは今年9月中に行われる普通救命士講習を受講される方が対象10名)が新たに加わり、自己負担11,000円で受講できるようになりました。</p>
	<p>5 議員の成り手不足について、地方自治に問題が生じており、国と地方に開きがある。中央に対して要望などしているのか?</p>	<p>国への要望はしていない。</p> <p>過去に、定数や報酬について議会で検討したことがあったが、最近はない。周りの自治体でも同じ問題があり、議員の中でそれぞれ話は出ているが、全体で話し合うということは今のところない。</p>
	<p>6 成り手不足として、給与に問題があると思う。働き方改革で国民の収入も上がっているのに、定数と報酬を改革すべき。改善の余地はあるのか?</p>	<p>全国市議会議長会から議員年金復活(厚生年金へ)の意見書提出の要請が各市町村議会にあったが、天童市議会は意見書を提出しなかった。</p>
	<p>7 報酬は安いとは思わない。今後、本市は何が足りないのか、どんな政策が必要なのかを議員みなさんに聞きたい。</p>	<p>(水戸議員)</p> <p>全国ほとんどの市町村で人口減少、少子高齢化となっており、また、大学に入って地元での就職先がないため、どうしても東京一極集中になってい</p>

る。天童市の自然動態は毎年約100人の減となっているが、高校生まで医療費無料など子育て支援や、住みやすい環境を先進的に取り組んでおり、転入した社会動態で人口が横ばいから微減にとどまっている。これから天童に住んで働いてもらうために、大卒や高卒の人が就職できるような、製造業関係の企業を誘致しようと、山口西工業団地22.7haの造成を行っている。子育てしやすい環境づくり、働く為の環境づくりが重要である。また、高齢化が進んでおり、団塊の世代が2025年に75歳になる。現在75歳位の方は、元気な人が多いが、80歳、85歳になった時が心配だ。地域密着型の特別養護老人ホームを増やしていく必要があると思う。もう一点は、スマートインターチェンジを造ろうとしているが、インバウンドも含め交流人口を増やして、お金をどんどん使ってもらっていただき、経済の活性化につなげたい。

(結城議員)

首都圏に近い山形県天童市にしたい。通勤圏内になれば、人口は増えるし、活気が出る。新幹線が山形間1時間30分の夢の実現へ向けて頑張りたい。

(遠藤議員)

少子高齢化・人口減少が避けられない時代であり、社会全体が縮小することを前提にした政策が求められている。

天童市は子育て支援に力を入れて

おり、大切なことではあるが、サービス合戦的なことをいつまで続けられるのか疑問に思う。

本市の財政状況は、ここ数年、市税が全て民生費に消えている状況で、財政状況が悪化する前に対策を打つ必要がある。

効率化を追い求めたコンパクトシティ化は、周辺部を疲弊させ、また先の平成の大合併も周辺部は衰退し、栄えたのは中心部のみ。

この過ちを教訓として、全ての市民の生活と幸せを考え、本市は均衡ある発展を目指すべき。

ふるさと納税の寄付金活用のあり方も重要で、後付けの配分方式でなく、しっかり基金を創設し、市民のためになる政策に投入すべき。

定住人口の増加を見込めない今、スマートインターチェンジを設置・活用しての交流人口の拡大策は、本市は元より周辺自治体をも活性化する重要な政策があり、早期実現を図るべきだと考える。

(熊澤議員)

災害が少なく住みやすい本市だからこそ、防災に対する心構えや取組みが低下しており、防災意識の醸成が必要だと考える。また、地域防災力を高めるうえで自助・共助の強化を目的とし、防災という重要な課題を活用した地域との関わりを促進していくとともに、当事者意識を持たせ明るい豊かな社会の実現を目指したい。

(伊藤議員)

		<p>政府は「働き方改革」というが「働かせ方改革」ではないか。</p> <p>地方議員としては、格差が広がっているいろいろな問題がある。格差社会の是正が必要。子どもの医療費、介護など。</p> <p>また、防災対策は日頃からの地域コミュニケーションを回って、いざという時の助け合いの為に、どう活かすかという点を重視したい。</p>
	<p>8 イオンモール天童の効果について、総合的なメリットはあるのか？</p>	<p>今までどの程度のメリットがあるのか把握していない。</p> <p>(調査結果)</p> <p>市街地にまとまった土地が少ない中、定住人口の増加と魅力ある市街地の形成を目的として整備した。JR天童南駅、大型商業施設、子育て支援施設など、都市機能が集約され、市外県外からの移住者が全体の40パーセントを超える状況にある。また、交流人口にも繋がっている。</p>
	<p>9 天童の3駅(乱川駅、天童南駅、高掬駅)周辺500メートルの開発許可が下りたが、この背景は？</p>	<p>(調査結果)</p> <p>市街化調整区域は、農業従事者や地縁・血縁者、優良田園住宅建築計画認定者等のみが認可されていた。</p> <p>市内外の方の新たな移住・定住を促進し、市街化調整区域の活性化を図るため、公共交通機関であるJRの3駅周辺500メートルを拠点集落区域と位置付けて、平成30年4月1日から開発行為等の規制を緩和している。</p>
	<p>10 選挙権年齢を18歳に下げたのは若い人の意見を今後取り入れる必要があるためだと思う。そのための活</p>	<p>検討してみます。</p>

	<p>動として高校での出前事業や議会報告会を開催して欲しい。</p>	
	<p>11 山形の将来像について、結城議員が言ったような新幹線を15分短縮するために何千億もの借金を子ども達に残すことは問題があると思う。</p>	
<p>7 所 感</p>	<p>前回の報告会で、北部地区は8町内会あるのに2町内会の参加しかなく、もう少し参加をと呼びかけていただき、今回は多くの町内会から出席してもらおうとともに、意見を準備して参加していただきありがたかった。今後も気軽に意見交換できるやり方に努力したい。</p>	